



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **07046368 A**(43) Date of publication of application: **14.02.95**

(51) Int. Cl.

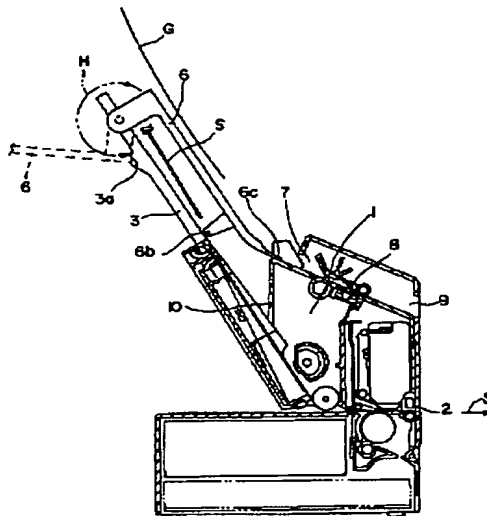
**H04N 1/00**  
**B65H 11/00**
(21) Application number: **05192238**(71) Applicant: **CANON INC**(22) Date of filing: **03.08.93**(72) Inventor: **KAGEYAMA TETSUHIITO**(54) **FACSIMILE EQUIPMENT**

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

(57) Abstract:

**PURPOSE:** To improve the dust preventing property and sealing property of cut sheets and to reduce the generation of troubles in a space saving type facsimile (FAX) equipment using a cut sheet cut to a prescribed size as a recording paper/original when a stacker loading plural cut sheets is arranged so as to be optionally attached/detached to/from the set face of the FAX equipment from the upper oblique part of the equipment.

**CONSTITUTION:** The FAX equipment using a cut sheet as a recording sheet S or an original G is provided with original guiding means 7, 9 for guiding the original G to an original reading means 8 arranged on the upper part of the equipment body 1 from the upper oblique part of the means 8, a guiding member 3 for guiding the recording sheet S to be carried to a recording means arranged under the means 8 from the upper oblique part of the body 1 and a cover member 6 arranged on the upper part of the member 3.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-46368

(43) 公開日 平成7年(1995)2月14日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

H 0 4 N 1/00

B 6 5 H 11/00

識別記号

1 0 8 Q 7232-5C

A 7612-3F

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平5-192238

(22) 出願日

平成5年(1993)8月3日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 藤山 徹人

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ

ノン株式会社内

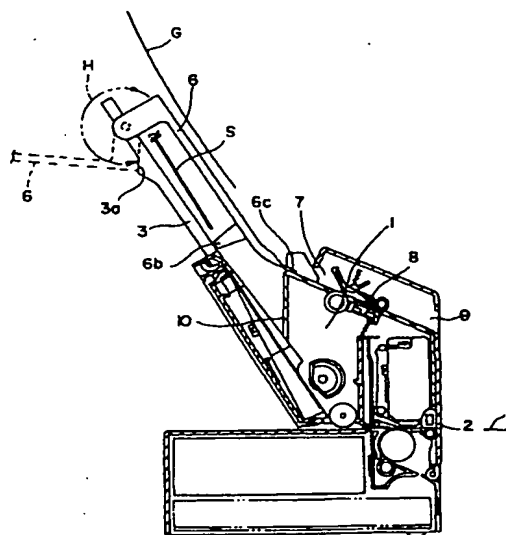
(74) 代理人 弁理士 大塚 康徳 (外1名)

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【目的】 所定サイズに裁断されたカットシートを記録紙乃至原稿とした省スペース型のファクシミリ装置において、ファクシミリ装置の設置面に対してカットシートを複数枚数分装填したスタッカを装置に対して斜め上方から着脱自在にするようにした場合に、カットシートの防塵性、密閉性を向上させて、装置のトラブル発生を低減させる。

【構成】 カットシートを記録シートSまたは原稿Gとしたファクシミリ装置において、装置本体1の上方部位に配設された原稿読み取り手段8に対して原稿Gを斜め上方から案内する原稿案内部7、9と、原稿読み取り手段8の下方に配設された記録手段に対して所定搬送される記録シートSを装置本体1に対して斜め上方から案内する案内部材3と、案内部材3の上方において設けられるカバー部材6とを具備する



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 カットシートを記録シートまたは原稿としたファクシミリ装置において、装置本体の上方部位に配設された原稿読み取り手段に対して前記原稿を斜め上方から案内する原稿案内部と、前記原稿読み取り手段の下方に配設された記録手段に対して所定搬送される前記記録シートを前記装置本体に対して斜め上方から案内する案内部材と、該案内部材の上方において設けられるカバー部材とを具備することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 前記記録シートは前記案内部材の内部に複数枚数分が収容される所定サイズに裁断された普通紙であって、前記案内部材を記録シート用スタッカとして設けて前記装置本体に対して着脱自在に設けたことを特徴とする請求項1に記載のファクシミリ装置。

【請求項3】 前記カバー部材は、前記案内部材に対して着脱もしくは回転するように設けられたことを特徴とする請求項1に記載のファクシミリ装置。

【請求項4】 前記カバー部材は、前記原稿の案内部材を兼ねる形状を有していることを特徴とする請求項1に記載のファクシミリ装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はロール紙に替えて裁断記録紙（以下、カットシートと言う）を使用した省スペース型のファクシミリ装置において、特にカットシートの防塵乃至密閉対策を施したファクシミリ装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、所定サイズに裁断されたカットシートを記録紙とした省スペース型のファクシミリ装置においては、ファクシミリ装置の設置面に対してカットシートを複数枚数分装填したスタッカを装置に対して斜め上方から着脱自在にするように構成してその設置面積を減少させるようにする提案がなされている。

【0003】 例えば、図4は本願発明の出願人になるファクシミリ装置の要部を破断示した側面図であって、本図においてカットシートSを複数枚数分装填したスタッカ30を装置本体1に対して斜め上方から着脱自在にするように構成して、装置本体1の前面の排紙口2から矢印方向に排出する一方、装置1の上面に沿うように配設された原稿Gの読み取り装置において、原稿Gを同様に装置前面に向けて排出するように構成されている。以上の構成により、ファクシミリ装置の設置面積を減少させるようにしている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記構成のファクシミリ装置において、（1）カットシートSの給紙口10が装置上面において配置されるので、塵灰、異物等がカットシートS上に堆積した状態で装置に

給紙されたり、または直接的に塵灰、異物等が給紙口10から装置内に進入して、装置の正常な動作を防げる可能性があることが判明した。また、（2）カットシートS用のスタッカ30を斜めに立てた構造として省スペース化を実現している関係から、同様に読み取り原稿G（図4、参照）用に仮にスタッカを設ける場合には、カットシートS用のスタッカ30との干渉防止のために同様に原稿G用のスタッカも立てた構造とならざるを得ない。そこで、この干渉防止のために原稿G用のスタッカ40を図示のように設けると、原稿Gの搬送案内長が短くなり、原稿Gの搬送性が悪化することになる。また、原稿G用のガイド部材を長く設けたとしてもカットシートSスタッカ30との接近によりカットシートS装填性が低下することが判明した。

【0005】 したがって、本発明は上述した問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、所定サイズに裁断されたカットシートを記録紙乃至原稿とした省スペース型のファクシミリ装置において、ファクシミリ装置の設置面に対してカットシートを複数枚数分装填したスタッカを装置に対して斜め上方から着脱自在にするようにした場合に、カットシートの防塵性、密閉性を向上させて、装置のトラブル発生を低減させることにある。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 及び

【作用】 上記課題を解決し、目的を達成するために、本発明のファクシミリ装置は、以下の構成を備える。即ち、カットシートを記録シートまたは原稿としたファクシミリ装置において、装置本体の上方部位に配設された原稿読み取り手段に対して前記原稿を斜め上方から案内する原稿案内部と、原稿読み取り手段の下方に配設された記録手段に対して所定搬送される記録シートを装置本体に対して斜め上方から案内する案内部材と、案内部材の上方において設けられるカバー部材とを具備することで、カットシートの防塵性、密閉性を向上させて、装置のトラブル発生を低減させるようにしている。

【0007】 また、好ましくは、記録シートは案内部材の内部に複数枚数分が収容される所定サイズに裁断された普通紙であって、案内部材を記録シート用スタッカとして設けて装置本体に対して着脱自在に設けたことで、カットシートの防塵性、密閉性を適宜向上させるようにして、装置のトラブル発生を低減させるようにしている。

【0008】 また、好ましくは、カバー部材は、案内部材に対して着脱もしくは回転するように設けられて、カットシートの防塵性、密閉性を適宜向上させるようにして、装置のトラブル発生を低減させるようにしている。

【0009】 そして、好ましくは、カバー部材は、原稿の案内部材を兼ねる形状を有しており、原稿搬送を円滑に行えるようにしている。

10

20

30

40

50

【0010】

【実施例】以下、図面を参照して、本発明の各実施例につき詳細に説明する。尚、全図を通じて同一符号は同一対象物を示す。

【0011】（第1実施例）図1は、第1実施例の模式的外観斜視図であり、図示のようにファクシミリ装置本体1はカットシートSの排紙口2を前面下方に配設する一方、カットシートSの給紙案内板3を装置背面において設けておき、カバー部材4により、給紙案内板3の上方を覆うように構成されている。

【0012】以上の構成において、ファクシミリ装置本体1の背後からカットシートSがカットシートSの案内板3をガイドとして、カットシートSの給紙口10（図4、参照）に装填される。この後に、ファクシミリ本体が通信回線を通じ画像信号を受信するとカットシートSはファクシミリ装置本体1内の印字記録部であるシリアル印字記録装置のインクジェット記録部において所定記録された後に、カットシートSの排紙口2より排出される。

【0013】一方、カバー部材4はファクシミリ装置本体1に対して差し込み等の簡便な方法で固定されており、カットシートSのセット時にはカバー部材4を取り外しカットシートSの装填後にカバー部材4を再度装着している。

【0014】以上のようにカバー部材4を設けることにより、カットシートS及び、給紙口10に塵埃などが付着して、ファクシミリ装置本体1内に進入するのを防止するようにしている。

【0015】以上の結果、カットシートのスタッカ部及びカットシートSの給紙口を覆う部材を配設する事により、装置の防塵性、密閉性を向上させて、異物混入を効果的に防止することができる。

【0016】（第2実施例）次に、第2実施例につき、図2の模式的外観斜視図において述べる。上述の第1実施例においては、カバー部材4が脱着可能なように構成されていたが、本実施例においては、カットシートSの案内板3に回動可能なカバー部材5であって回動支持部5aと、ストッパー部5bを設けたカバー部材5を図示のように装着している。このように設けたカバー部材5により簡便な操作性とカバー部材5の紛失防止を図ることができる。

【0017】（第3実施例）次に、図3の模式的な要部断面図に基づき第3実施例の特徴点につき述べる。本図において、第2実施例において回動可能に設けられたカバー部材5をさらに改良したものであって、カバー部材6の先端部6cを読み取り原稿Gの給紙口7近傍に至るように延長しており、カバー部材6が読み取り原稿Gの

ガイド機能を兼ねるように配設したものである。

【0018】即ち、このようにカバー部材6を構成することにより、原稿Gを原稿読み取り部8と読み取り原稿Gの排紙口9に至る搬送経路に沿うように案内可能にしている。

【0019】以上の構成により、ファクシミリ装置本体1を送信機として使用する場合に、送信原稿Gを読み取り原稿給紙口7にその先端が来るように装填し、原稿読み取り部8を通過して、読み取り原稿排紙口9から排出するようにしている。

【0020】ここで、省スペース型ファクシミリ装置にあっては、図4において述べたように、原稿設置部の受け台の面積を確保することは困難であったが、この問題点が解消されることになる。

【0021】以上説明したように、カットシートSのスタッカ部及びカットシートSの給紙口10を覆うカバー部材4、5、6を配設する事により、装置の防塵性、密閉性を向上させる効果が得られ、異物混入に起因するトラブルの解消を図ることができる。

【0022】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、所定サイズに裁断されたカットシートを記録紙乃至原稿とした省スペース型のファクシミリ装置において、ファクシミリ装置の設置面に対してカットシートを複数枚数分装填したスタッカを装置に対して斜め上方から着脱自在にするようにした場合に、カットシートの防塵性、密閉性を向上させて、装置のトラブル発生を低減させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例を示す模式的な外観斜視図。

【図2】本発明の第2実施例を示す模式的な外観斜視図。

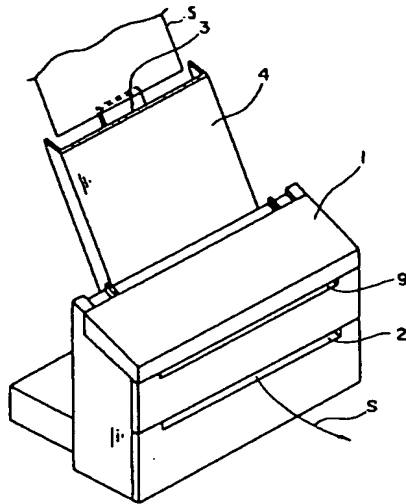
【図3】本発明の第3実施例を示す模式的な断面図。

【図4】従来例を示す模式的な要部断面図。

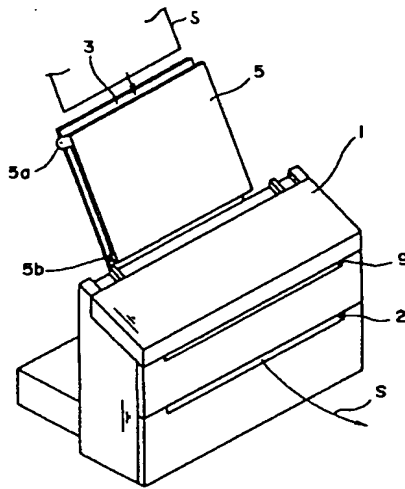
【符号の説明】

- 1 装置本体
- 2 排紙口
- 3 案内板
- 4 カバー部材
- 5 カバー部材
- 6 カバー部材
- 7 原稿給紙口
- 8 原稿読み取り部
- 9 稿排紙口
- 10 給紙口

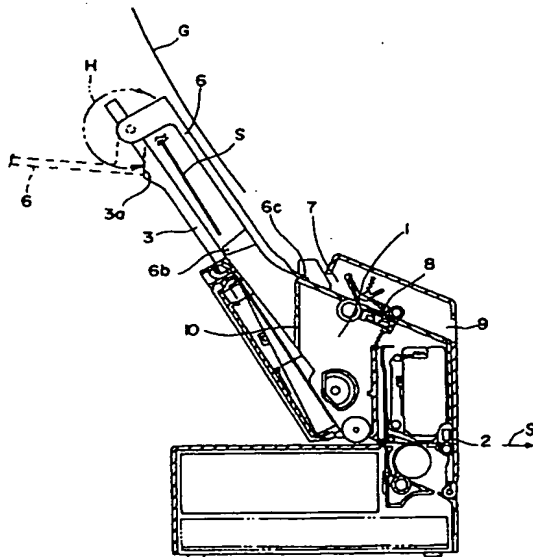
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

